



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年3月13日

上場会社名 株式会社ファルテック 上場取引所 東
 コード番号 7215 URL http://www.faltec.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横田 昭治
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 (氏名) 北原 正裕 TEL 044-520-0290
 四半期報告書提出予定日 平成30年3月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	62,871	3.0	230	△66.4	240	△54.1	△610	—
29年3月期第3四半期	61,021	0.6	684	△60.9	523	△67.8	△152	—

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 1,556百万円 (-%) 29年3月期第3四半期 △1,303百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	△65.16	—
29年3月期第3四半期	△16.32	—

(注) 平成29年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。また、平成30年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	64,833	17,981	24.7	1,710.66
29年3月期	59,860	18,387	27.9	1,787.12

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 16,042百万円 29年3月期 16,678百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	43.33	43.33
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	43.33	43.33

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	86,500	3.5	1,200	△24.6	1,100	△22.8	600	37.6	64.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（平成30年3月13日）公表致しました「平成30年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 - 社（社名） 、除外 - 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	9,378,600株	29年3月期	9,333,300株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	624株	29年3月期	624株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	9,363,151株	29年3月期3Q	9,319,198株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報に基づいており、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループを取り巻く経営環境は、日本の景気安定と堅調に推移する欧米経済に支えられ、総じて緩やかな回復基調で推移しました。国内の景気については円安基調の定着等により企業収益の改善傾向が継続し、雇用環境も堅調なため緩やかな回復基調にあります。当社グループの属する自動車業界の概況は、上半期までは順調に推移しておりましたが一部では自動車完成車メーカーの無資格検査問題の影響により10月以降の生産・販売が大きく落ち込みました。

このような情勢の中、当第3四半期連結累計期間の売上高は、国内におけるミリ波レーダーカバー、電装品等の新商品販売増により62,871百万円（前年同期比3.0%増）となりました。

営業利益は、売上高増の効果があつたものの日本セグメントにおける無資格検査問題による急速な減産に伴うロスや中国における競争激化の影響等により230百万円（前年同期比66.4%減）となりました。

経常利益は、営業利益減を主因として240百万円（前年同期比54.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失は、特別損失として国内子会社に係る減損損失315百万円等を計上し、610百万円（前年同期は152百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は、以下の通りであります。

(日本)

売上高（セグメント間売上高を含まない）は、上半期の国内四輪車生産台数及び販売台数の増加に伴う販売増並びにミリ波レーダーカバー、電装品等の新商品販売増により47,255百万円（前年同期比5.8%増）となりました。セグメント利益は、無資格検査問題の影響により主要取引先への納入が急速に減ったことによるロス等により215百万円（前年同期比47.7%減）となりました。

(アジア)

売上高（セグメント間売上高を含まない）は、特に中国における競争激化の影響等により8,196百万円（前年同期比0.7%減）となりました。セグメント利益は、売上高減少及び主に自動車用品ビジネスの競争激化の影響等により629百万円（前年同期比27.6%減）となりました。

(北米他)

売上高（セグメント間売上高を含まない）は、販売商品構成変化の影響等により7,419百万円（前年同期比8.4%減）となりました。セグメント損失は、前年同期に発生していた英国子会社の新車立上げ費用増の解消がありましたが、米国子会社におけるミリ波レーダーカバーライン新設準備費用の計上等により568百万円（前年同期は635百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ4,972百万円増加し、64,833百万円となりました。これは主に、現金及び預金が2,050百万円、投資有価証券が1,500百万円、建設仮勘定が1,342百万円増加し、受取手形及び売掛金が1,327百万円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べ5,377百万円増加し、46,851百万円となりました。これは主に、短期借入金が5,171百万円、支払手形及び買掛金が1,003百万円、電子記録債務が934百万円増加し、長期借入金が1,862百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べ405百万円減少し、17,981百万円となりました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末と比べ3.2ポイント減少し、24.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績予想につきましては、最近の業績の動向等を踏まえ、「平成29年3月期決算短信」発表時（平成29年5月12日）の予想を変更しております。詳細は、本日公表致しました「平成30年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報並びに合理的であると判断する一定の情報に基づいております。実際の業績は、様々な要因により異なる結果となる可能性がありますので、ご承知おきください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,108	8,159
受取手形及び売掛金	18,052	16,724
商品及び製品	2,809	3,382
仕掛品	585	630
原材料及び貯蔵品	2,343	2,858
繰延税金資産	875	864
その他	1,559	1,716
貸倒引当金	△16	△12
流動資産合計	32,317	34,324
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,213	6,137
機械装置及び運搬具（純額）	5,373	5,304
工具、器具及び備品（純額）	1,301	1,213
土地	6,953	6,986
リース資産（純額）	1,750	2,337
建設仮勘定	1,810	3,153
有形固定資産合計	23,404	25,133
無形固定資産		
投資その他の資産	1,057	1,028
投資有価証券	1,439	2,939
繰延税金資産	1,310	1,120
その他	337	292
貸倒引当金	△6	△6
投資その他の資産合計	3,081	4,346
固定資産合計	27,542	30,508
資産合計	59,860	64,833

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,955	10,958
電子記録債務	3,592	4,526
短期借入金	2,585	7,756
1年内返済予定の長期借入金	2,670	2,530
リース債務	1,110	1,473
未払法人税等	207	95
賞与引当金	831	394
課徴金引当金	234	247
その他	4,376	5,077
流動負債合計	25,563	33,061
固定負債		
長期借入金	6,711	4,849
リース債務	513	745
退職給付に係る負債	7,320	6,910
持分法適用に伴う負債	19	—
再評価に係る繰延税金負債	1,007	1,007
その他	336	276
固定負債合計	15,909	13,789
負債合計	41,473	46,851
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,265	2,291
資本剰余金	583	609
利益剰余金	10,616	9,601
自己株式	△0	△0
株主資本合計	13,465	12,501
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	788	1,223
繰延ヘッジ損益	△1	△0
土地再評価差額金	1,935	1,935
為替換算調整勘定	1,853	1,670
退職給付に係る調整累計額	△1,363	△1,288
その他の包括利益累計額合計	3,213	3,540
非支配株主持分	1,708	1,939
純資産合計	18,387	17,981
負債純資産合計	59,860	64,833

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	61,021	62,871
売上原価	52,301	55,137
売上総利益	8,720	7,733
販売費及び一般管理費	8,035	7,503
営業利益	684	230
営業外収益		
受取利息	10	10
受取配当金	35	31
持分法による投資利益	73	20
その他	82	108
営業外収益合計	202	171
営業外費用		
支払利息	136	100
為替差損	202	38
その他	24	22
営業外費用合計	363	161
経常利益	523	240
特別損失		
固定資産除却損	8	20
減損損失	57	315
特別損失合計	66	336
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	457	△95
法人税等	440	319
四半期純利益又は四半期純損失(△)	17	△415
非支配株主に帰属する四半期純利益	169	195
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△152	△610

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	17	△415
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	239	435
繰延ヘッジ損益	1	0
為替換算調整勘定	△1,852	△72
退職給付に係る調整額	289	1,608
その他の包括利益合計	△1,320	1,971
四半期包括利益	△1,303	1,556
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,193	1,322
非支配株主に係る四半期包括利益	△109	234

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	北米他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	44,668	8,256	8,096	61,021	-	61,021
セグメント間の内部売上高 又は振替高	512	126	0	639	△639	-
計	45,181	8,382	8,096	61,660	△639	61,021
セグメント利益又は損失 (△)	413	869	△635	648	36	684

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」セグメントにおいて、売却予定の資産について帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては57百万円であります。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	北米他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	47,255	8,196	7,419	62,871	-	62,871
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,439	45	11	1,496	△1,496	-
計	48,695	8,241	7,430	64,367	△1,496	62,871
セグメント利益又は損失 (△)	215	629	△568	276	△46	230

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

（固定資産に係る重要な減損損失）

「日本」セグメントにおいて、収益性が低下し投資額の回収が見込めなくなった事業用資産について帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては315百万円であります。